



2024年1月19日

各位

会社名 モビルス株式会社
代表者名 代表取締役社長 石井 智宏
(コード番号：4370 東証グロース)
問い合わせ先 取締役 CFO 加藤 建嗣
TEL. 03-6417-9523

テクマトリックス株式会社との資本業務提携契約の締結および エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社による当社株式売却のお知らせ

当社は、2024年1月19日開催の取締役会において、以下のとおり、テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利 孝、以下テクマトリックス）との間で、テクマトリックスによるエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：黒岩 真人、以下NTTコムウェア）からの当社普通株式の全ての取得を前提として、資本業務提携契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、テクマトリックスより、NTTコムウェアが保有する当社普通株式の全部をテクマトリックスが取得することに合意した旨の報告を受けました。

なお、当社とNTTコムウェアとで締結済の業務提携契約は継続し、当社は引き続きNTTコムウェアと良好な関係のもと新たな領域での連携を進めてまいります。

1. 資本業務提携の目的及び理由

テクマトリックスは、日本国内トップクラスの導入実績を誇るコンタクトセンターCRMシステム/FAQナレッジシステム「FastSeries」を提供しており、コンタクトセンター向けソリューションの分野で高いプレゼンスを有しています。

当社は、「MOBI AGENT(モビエージェント)」「MOBI BOT(モビボット)」をはじめとしたMOBIシリーズや、PCI DSSを取得したセキュア・コミュニケーション機能「Secure Path(セキュアパス)」の開発・提供を通してコンタクトセンターの業務効率化に取り組んでいます。さらに付加価値の高いサービスを提供するため、オペレーター支援機能として自社開発したAI機能群「MooA」に生成AIを活用した新機能の実装を進めています。

両社はともにコンタクトセンターに対するソリューションを提供していますが、主力とする製品の領域が異なることから競合する分野は限られ、相互補完的に両社の製品を提供することが可能です。また生成AIの登場により変革期を迎えているコンタクトセンター向けソリューション市場において両社が培ってきた営業力・技術力・ノウハウを相互に提供し合うことが両社の競争力を大いに高めることに繋がります。

以上の点を考慮し、テクマトリックスとの間で資本業務提携契約を締結することとなりました。

また、当社と NTT コムウェアは、当社が上場する以前の 2020 年 6 月 16 日付で当社株式の取得とともに業務提携契約を締結し、両社でのソリューション開発を推進してまいりましたが、当社株式の上場を経て、NTT コムウェアが保有する当社株式を売却することに合意いたしました。なお、業務提携契約は継続し、事業面では新たな領域での連携を進めてまいります。

■ 本件についての各社コメント

テクマトリックス株式会社 取締役常務執行役員 鈴木 猛司

テクマトリックスは、「より良い未来を創造する IT のプロフェッショナル集団」をミッションとしてソフトウェア技術を駆使し顧客の抱える問題領域におけるベストプラクティスを実装したアプリケーションの提供を行っています。CRM ソリューション事業では「顧客と企業の絆を深め、お互いが価値を高め合う社会をつくる」をミッションとして掲げ、国内トップクラスの導入実績を誇る CRM /FAQ ナレッジソリューション「FastSeries」を中心にコンタクトセンターにおける DX 推進や CX 向上等の課題解決に取り組んでいます。モバイルとの提携により、多様化する顧客ニーズに対応するためにテクマトリックスが保有する CRM ソリューションとモバイルの保有するデジタルコミュニケーションソリューションを融合することで、ユーザー企業の抱える課題を解決する非常に優れたソリューションが提供できると考えています。

エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 代表取締役副社長 桑名 正人

NTT コムウェアは、モバイルとの資本業務提携を通じ、モバイルが保有するチャットテクノロジーを活用してコミュニケーション基盤の強化を進めてまいりました。今般、資本関係については解消となるものの、業務提携は維持し、モバイルのチャットテクノロジーとのシナジーを深め、また新たな領域での協業を模索してまいります。

モバイル株式会社 代表取締役社長 石井 智宏

モバイルは、The Support Tech Company として、「テクノロジーでサポートを新しく。」のミッションの下、顧客サポートシーンにおける課題解決をめざしています。オペレーターの採用難や高い離職率、人件費や運用コストの上昇などサポートの現場では課題が山積しています。一方で、生成 AI の登場により、コンタクトセンターが抱える様々な課題を解決し得る大きな変革期が到来しています。ともにコンタクトセンター業界と向き合うテクマトリックスとの連携により、MOBI シリーズを始めとした自社製品に加えて、テクマトリックスが提供する製品、さらには両社の協働のもとで生み出される付加価値の提供を通じて、このコンタクトセンター業界の大変革をリードし、コンタクトセンターが抱える課題の解決に取り組んでまいります。

また、モバイルは、2014 年より NTT コムウェアが提供するサービスに向けてチャットエンジンを提供し、また NTT 西日本グループが提供するビジネスチャットサービスの開発にも NTT コムウェアと共に継続して参画してまいりました。モバイルが持つチャットシステムをはじめとした製品開発の技術力の提供を通じて築いてきた NTT コムウェアとの関係は強固なものであり、今後も緊密な事業連携を進めてまいります。

2. 資本業務提携の内容

(1) 新たに締結する資本業務提携の内容

テクマトリックスは、当社の株主である NTT コムウェアから当社普通株式 521,400 株（当社の発行済株式総数に対する割合：8.73%）を 1 月 19 日に取得する予定です。これに伴い、当社とテクマトリックスは両社の事業の発展及び企業価値向上のため、資本業務提携を行います。

(主な提携内容)

- ・ 当社からテクマトリックスへの MOBI シリーズの OEM 提供
- ・ 両社顧客の相互送客
- ・ MOBI シリーズと FastSeries の製品連携開発
- ・ 生成 AI 領域における共同研究及びサービス開発

当社及びテクマトリックスは、今後、上記の提携内容に加え様々な領域で協業を行っていく方針で、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

(2) 本件取引の対象となる株式の数及び発行済株式数に対する割合

普通株式 521,400 株（当社の発行済株式総数に対する割合：8.73%）

3. 資本業務提携契約を結ぶ相手先の概要

(1)	名 称	テクマトリックス株式会社		
(2)	所 在 地	東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 24F		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 由利 孝		
(4)	事 業 内 容	ネットワークセキュリティ関連事業・コンタクトセンター業務支援		
(5)	資 本 金	12 億 9812 万円		
(6)	設 立 年 月 日	1984 年 8 月 30 日		
(7)	大株主及び持株比率	株式会社日本カストディ銀行（信託口）（16.53%） 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）（15.52%）		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
		人 的 関 係	該当事項はありません	
		取 引 関 係	該当事項はありません	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	21 年 3 期	22 年 3 期	23 年 3 期
	資 本 合 計	16,354 百万円	20,202 百万円	23,917 百万円
	資 産 合 計	39,996 百万円	52,503 百万円	65,691 百万円
	1 株当たり親会社所有者 帰 属 持 分	373.53 円	426.40 円	475.24 円

売上収益	30,928 百万円	36,513 百万円	45,950 百万円
営業利益	3,583 百万円	3,734 百万円	5,098 百万円
当期利益	2,380 百万円	2,558 百万円	3,637 百万円
親会社の所有者に帰属する 当期利益	2,301 百万円	2,371 百万円	2,950 百万円
基本的1株当たり当期利益	57.92 円	59.65 円	73.91 円
1株当たり配当金	19 円	20 円	23 円

4. テクマトリックスとの資本業務提携の日程

(1)	2024年1月19日	取締役会決議
(2)	2024年1月19日	資本業務提携契約の締結日
(3)	2024年1月19日	株式譲渡に係る約定日（予定）
(4)	2024年1月19日	資本業務提携契約による業務提携開始日（予定）
(5)	2024年1月23日	テクマトリックスによる株式取得日（予定）

5. 今後の見通し

本件が当社 2024 年 8 月期の通期業績に与える影響については精査中であり、今後報告すべき事由が発生した場合は速やかに公表致します。

以 上

（参考）当期業績予想（2023 年 10 月 13 日公表分）及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (24 年 8 月期)	1,913 百万円	▲389 百万円	▲398 百万円	▲394 百万円
前期実績 (23 年 8 月期)	1,594 百万円	▲156 百万円	▲152 百万円	▲182 百万円